

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|---------------|---------------|--------------------------|----|--------|
| 26-15 | 中学校 | 音楽 | 一般 | 第2・3学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教科書名 | | |
| 27 教芸 | 音楽 827, 828 | 中学生の音楽 2・3上, 中学生の音楽 2・3下 | | |

1. 編修の趣旨及び留意点

[編修の趣旨]

教育基本法の趣旨に則りつつ、学習指導要領音楽科に示された内容を無理なく習得することができるように、次の事項を編修の趣旨としました。

① 学習内容と手順が明確に分かる教科書

前半の歌唱、創作、鑑賞教材のセクションにおいては、全ての教材に学習目標を大きく示し、それに迫るための具体的な学習活動を、手順に沿って示しました。さらに、思考・判断を行うための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示し、学習の観点が明確になるように工夫しました。

② 主体性や創造性を育む学習に確実に取り組める教科書

生徒一人一人の主体性や創造性を育むうえで特に大切な「創作」の学習内容を吟味し、その学習に確実に取り組むことができるよう、ねらいや手順を明確に示しました。

③ 我が国や世界の音楽文化のよさを味わいながら豊かな心を育むことのできる教科書

我が国の音楽文化、また世界の音楽文化の特徴を感じ取ることを通して、それらのよさを味わうことができるようにしました。それによって、自国の音楽文化に誇りをもつと同時に、他国の音楽文化に対しても自国と同様に尊重する態度を養えるようにしました。

④ 小学校での学習内容を系統的に発展させることのできる教科書

小学校で学習する内容を踏まえて、それらを系統的に発展させて学習することができるような内容を含め、小学校とのスムーズな接続が可能になるように工夫しました。

【編修上の留意点】

より分かりやすく、学習がスムーズに進む教科書とすべく、次の点に留意しました。

① ユニバーサルデザインを目指した内容、デザインとする。

全ての生徒にとって、分かりやすく、取り組みやすい教科書となるよう、教材そのものの難易度や、文章の分かりやすさにいっそう配慮するとともに、重要な学習事項が優先的に目に入るような、シンプルなデザインとしました。また、色の見分けのつきにくい生徒にとって、学習上の支障が生じないよう、当事者チェックを受けています。

② 生徒の興味・関心を高め、学習意欲を喚起しやすい内容とする。

生徒の興味・関心を高め、学習の動機付けとなるような情報を含めることで、より主体的な学習ができるように工夫しました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に定められた教育の目標を踏まえ、音楽科における知識・理解を深め、思考力・判断力・表現力のバランスよい育成を図るために、次のような基本方針のもとに編修しました。

- 1 | 音楽科の学習を通して**知識・教養の確実な向上**を図ることができるよう、学習指導要領に示された「内容」や、「内容」に示された〔共通事項〕と緊密な関連をもった学習が確実に行われるようにしました。
- 2 | 「創作」の学習などを通して**個人の創造性を培う**とともに、グループ活動等によって**主体的に「協働」**しながら学習を進めることができるようにしました。
- 3 | **命の大切さを尊び、他を尊重する心を養う**ことができるような歌詞をもつ教材を多く取り入れました。
- 4 | **我が国や郷土を愛する心を育成**することができるように、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を教材として扱いました。

3. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所(上は上巻、下は下巻を示す) |
|----------|---|---|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 豊かな音楽的感性や情操を育成することのできる教材を選択・配列しました。(第一号) | 上 p. 4～76, p. 80 下 p. 4～72, p. 80 |
| 歌唱教材 | <ul style="list-style-type: none"> 英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を含めました。(第一号) 他を尊重したり、自然を愛する心を育てたりすることのできる教材や、道徳的観点と関連付けて取り上げられる教材を含めました。(第一号、第三号及び第四号) 我が国の伝統芸能を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を確実に行えるように配慮しました。(第五号) 歌唱共通教材には「心の歌」という共通のロゴや「日本の歌の美しさを味わおう」という共通の学習目標を付し、世代を超えて親しみ、歌い継いでいくという趣旨を生かした学習が行われるようにしました。(第五号) 国歌「君が代」を開きやすい本文最終ページに、その意義も含めて掲載しました。(第五号) | 下 p. 18 「Yesterday」 上 p. 12 「夏の思い出」 上 p. 56 「夏は来ぬ」 上 p. 58, 下 p. 54 「ふるさと」 上 p. 60 「今 この時」 上 p. 68 「今日は君の Birthday」 上 p. 70 「大切なもの」 下 p. 4 「花」 下 p. 20 「きみとともに」 下 p. 22 「早春賦」 下 p. 58 「いつまでも」 下 p. 61 「美しい約束」 下 p. 72 「仰げば尊し」 など 上 p. 44 長唄「勸進帳」から 下 p. 42 能「羽衣」から 上下「目次」 上 p. 12 「夏の思い出」 上 p. 20 「荒城の月」 下 p. 4 「花」 下 p. 12 「花の街」 下 p. 22 「早春賦」 上下 p. 80 国歌「君が代」 |
| 創作教材 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習目標と学習内容を明確に示しました。(第二号) 創作におけるグループ活動の中で、協力しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号) | 上 p. 28 「My Melody」 上 p. 30 「Let's Create!」 下 p. 26 「My Melody」 下 p. 28 「Let's Create!」 上 p. 30 「Let's Create!」 下 p. 28 「Let's Create!」 |

| | | |
|--------|--|--|
| 鑑賞教材 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を、明確な学習の観点のもとに学習できるように示しました。(第五号) 他国を尊重する態度を育成するために、諸外国の伝統的な音楽を教材として取り上げました。(第五号) 他国の音楽文化を学習する際にも、自国との関連が図れるように工夫しました。(第五号) | <p>上 p. 42 歌舞伎「勸進帳」から 上 p. 46 文楽「新版歌祭文」から 上 p. 48 「日本の郷土芸能」 下 p. 36 雅楽 平調「越天楽」 下 p. 40 能「羽衣」から</p> <p>上 p. 52 「世界の諸民族の音楽」 下 p. 44 「世界の諸民族の音楽」</p> <p>上 p. 52, 53 吹き出し 上 p. 33, 37, 40 「この頃、日本では-!?!」(発展的な学習内容) 下口絵 8 吹き出し 下 p. 32 「この頃、日本では-!?!」(発展的な学習内容)</p> |
| その他の教材 | <ul style="list-style-type: none"> 音符や休符、記号、用語の名称や意味、簡単な音符や休符を使ったリズムの読み書きを確実に習得できるような教材を含めました。(第一号) | <p>上 p. 6 「BINGO GAME」 上 p. 7 「RHYTHM GAME」 下 p. 8 「BINGO GAME」 下 p. 9 「RHYTHM GAME」</p> |
| 口絵資料 | <ul style="list-style-type: none"> 中学生によって上演される歌舞伎の舞台や、上演に向けてのさまざまな取り組みの様子を紹介し、伝統文化を受け継いでいくことや、協働、礼儀の大切さについて感じ取れるようにしました。(第二号、第三号及び第五号) 我が国の伝統的な芸能について、その特徴的な要素や舞台装置などに興味・関心をもって学習に取り組めるようにしました。(第五号) 我が国の古代の五絃琵琶が現在まで保存されていることを紹介し、我が国の伝統文化を尊重する心情と、それらを平和裏に守っていくことの大切さを感じ取れるようにしました。(第一号及び第五号) 我が国の伝統的な芸能について、その特徴的な要素や舞台装置などに興味・関心をもって学習に取り組み、芸能相互の関連について理解できるようにしました。(第五号) | <p>上口絵 3・4 「ふるさとへの誇りを胸に」</p> <p>上口絵 8 「歌舞伎」 上口絵 9 「文楽」</p> <p>下口絵 3・4 「世界に誇る日本の宝物」</p> <p>下口絵 5 「能」 下口絵 6・7 「能の影響を受けた諸芸能」</p> |

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 我が国の音楽文化

我が国や郷土を愛する態度を育成できるように、我が国の音楽文化について取り上げる際には、その背景や、生活との関わりなども示しました。

▶ 上 p. 42～51, 下 p. 36～43

② さまざまな場面で取り組める合唱曲

音楽を学校生活により生かすことができるように、巻末には行事等でも取り上げることのできる合唱曲を豊富に掲載しました。

▶ 上 p. 56～76 「歌い継ごう 日本の歌」「心通う合唱」

▶ 下 p. 54～72 「歌い継ごう 日本の歌」「心通う合唱」

③ 学習内容が一目で分かる「音楽学習 MAP」

学習指導要領に示された音楽科における学習内容と各教材との関連を「音楽学習 MAP」に明確に示し、学習指導要領の「内容」に準拠したバランスのよい学習が行われることを通して、音楽の基礎的な理解力や技能が確実に身に付けられるように配慮しました。

また、各教材と学習指導要領に示された〔共通事項〕との関連を、各教材の学習目標等に準じて「学習の窓口」として例示し、〔共通事項〕を支えとした学習が確実に行われるように配慮しました。

④ 学習目標や学習活動文とコラム「ここが分かれば Grade up!」

音楽についての基礎的な理解を促進するために、各教材には学習目標を明確に示すとともに、それに即した学習活動文や吹き出しによる問いかけなどを示しました。

また、教材によっては、「ここが分かれば Grade up!」というコラムを設け、〔共通事項〕と関連付けながら、より具体的な観点に基づいた学習ができるよう工夫しました。

▶ 上 p. 10, p. 17, p. 26 「ここが分かれば Grade up!」

▶ 下 p. 11 「ここが分かれば Grade up!」

⑤ 発声や指揮に関するコラム「My Voice!」「指揮をしてみよう!」

音楽に関する基礎的な技能を養うことができるよう、歌唱の学習活動に必要な発声に関するコラム「My Voice!」を掲載しました。

また、合唱の学習活動に必要な指揮についても、「指揮をしてみよう!」というコラムを設け、分かりやすい図版を交えて解説しています。

▶ 上 p. 11 「My Voice!」, p. 54 「指揮をしてみよう!」

▶ 下 p. 15 「My Voice!」, p. 52 「指揮をしてみよう!」

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|---------------|---------------|--------------------------|----|--------|
| 26-15 | 中学校 | 音楽 | 一般 | 第2・3学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教科書名 | | |
| 27 教芸 | 音楽 827, 828 | 中学生の音楽 2・3上, 中学生の音楽 2・3下 | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①基礎的・基本的な知識・技能の習得への配慮

前半の歌唱，創作，鑑賞教材のセクションにおいては，全ての教材に学習目標を大きく示すとともに，それに迫るための具体的な学習活動を手順に沿って示し，基礎的・基本的な知識，技能を確実に習得できるように配慮しました。さらに，思考・判断を行うための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示し，学習の観点が明確になるように工夫しました。また，言語活動を促す文言を示し，生徒の表現力が育成されるように配慮しました。

②学習指導要領の「内容」及び（共通事項）との関連の明示

学習指導要領の「内容」に示された指導事項をバランスよく扱うことができるように，前半の歌唱，創作，鑑賞教材については，指導事項との関連を「音楽学習 MAP」に示しました。

また，〔共通事項〕との関連についても，「音楽学習 MAP」及び本文の学習目標の横に例示し，〔共通事項〕を支えとした学習を確実に行うことができるように配慮しました。

③道徳教育へのアプローチ

他の人々に対する思いやりの心を持ち，友情の尊さを理解するなど，道徳教育に資する歌詞をもつ歌唱教材を取り入れました。また，我が国の伝統的な音楽や長く歌い継がれてきた日本の歌の学習を通して，日本人としての自覚をもつことができるように内容を充実させました。

④「繰り返し学習」への配慮

基礎的・基本的な学習として，継続的に繰り返し学習すべき事項については，上下巻ともに第1学年と同様の内容も含めた形で掲載し，確実な定着が図れるように配慮しました。

▶ 上 p. 6 「BINGO GAME」，下 p. 8 「BINGO GAME」

▶ 上 p. 7 「RHYTHM GAME」，下 p. 9 「RHYTHM GAME」

▶ 上 p. 11 「My Voice!」，下 p. 15 「My Voice!」

▶ 上 p. 54・55 「指揮をしてみよう!」，下 p. 52・53 「指揮をしてみよう!」

2. 対照表 (◎は「音楽学習 MAP」に示したもので、○より強い関連を示しています)

(上巻)

| 図書構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------------|---|---|---|-----------|---|---|-----------|---|----------|---|-----------|---|---|----------|---------------|---|
| | | A 表現 | | | | | | | | | | B 鑑賞 | | | | 【共通事項】 (1) | |
| | | (1) 歌唱の活動 | | | (2) 器楽の活動 | | | (3) 創作の活動 | | (4) 表現教材 | | (1) 鑑賞の活動 | | | (2) 鑑賞教材 | | |
| | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | イ | ア | イ | ウ | | | |
| | | <p>我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること。</p> <p>我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の白然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</p> <p>我が国が長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</p> <p>我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること。</p> <p>表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</p> <p>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</p> <p>楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。</p> <p>曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。</p> <p>曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。</p> <p>歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頁 | 教材名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 夢の世界を | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 8 | 翼をください | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 12 | 夏の思い出 (共通教材) | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 14 | 夏の日の贈りもの | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 18 | ア カペラの合唱曲 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ◎ | ○ | | ○ | ○ |
| 19 | Kum Ba Yah | ○ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 20 | 荒城の月 (共通教材) | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 22 | メッセージ | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 24 | サンタ ルチア | ◎ | ◎ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 26 | 花の季節 | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 28 | My Melody | ○ | | ○ | | | | ◎ | | | | | | | | ○ | ○ |
| 30 | Let's Create! | | ○ | ○ | | | | | ◎ | | | | | | | ○ | ○ |
| 32 | フーガ ト短調 | | | | | | | | | | ◎ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 34 | 交響曲第5番 ハ短調 | | | | | | | | | | ◎ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 38 | 「アイーダ」から | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ○ | | | ○ | ○ |
| 42 | 「勅進帳」から | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | | | ○ | ○ |
| 44 | 長唄「勅進帳」から | ○ | ◎ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 46 | 「新版歌祭文」から | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | | | ○ | ○ |
| 48 | 日本の郷土芸能 | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | | | ○ | ○ |
| 52 | 世界の諸民族の音楽 | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | | | ○ | ○ |
| 54 | 指揮をしてみよう! | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 56 | 夏は来ぬ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 58 | ふるさと | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 60~76 | 心通う合唱 今 この時 他 | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 80 | 君が代 | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |

(下巻)

| 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------------|--|---|---|-----------|---|---|-----------|---|----------|---|-----------|---|---------------|---|----------|---|
| | | A 表現 | | | | | | | | B 鑑賞 | | | | 【共通事項】 (1) | | | |
| | | (1) 歌唱の活動 | | | (2) 器楽の活動 | | | (3) 創作の活動 | | (4) 表現教材 | | (1) 鑑賞の活動 | | | | (2) 鑑賞教材 | |
| | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | イ | ア | イ | ウ | | ア | イ |
| | | <p>我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること。</p> <p>我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</p> <p>民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、地域や学校、生徒の実態を考慮して、伝統的な声の特徴を感じ取れるもの。</p> <p>我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</p> <p>我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること。</p> <p>表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</p> <p>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</p> <p>楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。</p> <p>曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。</p> <p>曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。</p> <p>歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頁 | 教材名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 花 (共通教材) | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 10 | 風の中の青春 | ○ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 12 | 花の街 (共通教材) | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 16 | 帰れソレントへ | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 18 | Yesterday | ◎ | ◎ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 20 | きみとともに | ◎ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 22 | 早春賦 (共通教材) | ◎ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 25 | フィンランディア | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 26 | My Melody | ○ | | | | | | ◎ | | | | | | | | ○ | ○ |
| 28 | Let's Create! | | | | ○ | ○ | | ◎ | | | | | | | | ○ | ○ |
| 30 | 組曲「展覧会の絵」から | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 32 | ブルタバ (モルダウ) | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 34 | 「レクイエム」から 他 | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 36 | 平調「越天楽」 | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 40 | 「羽衣」から | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 42 | 能「羽衣」から | ○ | ◎ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 44 | 世界の諸民族の音楽 | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 46 | ポピュラー音楽 | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 48 | 国境を越えて影響し合う音楽 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 50 | ルールを守って音楽を楽しもう! | 「内容の取扱い」2 (7) ウ 音楽に関する知的財産権 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 52 | 指揮をしてみよう! | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 54 | ふるさと | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 56~72 | 心通う合唱 青空 他 | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| 80 | 君が代 | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

| | | | | |
|---------------|---------------|--------------------------|-----|--------|
| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 26-15 | 中学校 | 音 楽 | 一 般 | 第2・3学年 |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 27 教芸 | 音楽 827,828 | 中学生の音楽 2・3上, 中学生の音楽 2・3下 | | |

| ページ | 記 述 | 類 型 | 関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項 |
|----------|--|-----|--|
| 上 口絵4 | (ふるさとへの誇りを胸に) 自分たちの住んでいる地域に息づく伝統文化や歴史を調べて、ふるさとのよさを再確認してみましょう。 | 2 | 第2〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞(1)イ及び第3 1(4)に関連して、自分たちの住んでいる地域の伝統文化や歴史を知る。 |
| 上18 | ア カペラ (a cappella) の語源 | 2 | 第2〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞(1)イに関連して、音楽用語が生まれた背景を知る。 |
| 上33 | この頃、日本では...!? | 2 | 第2〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞(1)イに関連して、同時代の日本の歴史的事象を知る。 |
| 上37 | この頃、日本では...!? | 2 | 第2〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞(1)イに関連して、同時代の日本の歴史的事象を知る。 |
| 上40 | この頃、日本では...!? | 2 | 第2〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞(1)イに関連して、同時代の日本の歴史的事象を知る。 |
| 下 口絵4 | (世界に誇る日本の宝物) 正倉院に伝わる宝物には、他にどのような物があるのか調べてみましょう。また、それらから当時の日本と他の国との関係を想像してみましょう。 | 2 | 第3 1(4)に関連して、日本の伝統的・歴史的事象について考察する。 |

| | | | |
|------|----------------|---|---|
| 下 32 | この頃, 日本では...!? | 2 | 第 2〔第 2 学年及び第 3 学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) イに関連して, 同時代の日本の歴史的事象を知る。 |
|------|----------------|---|---|

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 7 ページ)

(「類型」欄の分類について)

- 1 ...学習指導要領上, 隣接した後の学年等の学習内容 (隣接した学年等以外の学習内容であっても, 当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む) とされている内容
- 2 ...学習指導要領上, どの学年等でも扱うこととされていない内容